

## 🌀校長より🌀

霊峰迦葉山、そして玉原高原を背に、自然の中で心豊かな暮らしが営まれるこの地に開校された池田小学校は令和6年度に開校150年を迎えました。学校・地域や関係者の方々が一丸となり、150周年記念式典、記念誌発行、記念品の作成を行い、学校・地区を挙げて150年という伝統、歴史を祝うことができました。

池田小学校は、明治7年に発知小学校として当時の下発知村(観音寺)に創設され、その後現在の地に移りました。池田地区には中発知尋常校(後に北池田尋常小学校→池田高等小学校)、下発知尋常校(後に南池田尋常小学校)、奈良尋常校(後に南池田尋常小学校)、岡谷尋常小学校、秋塚尋常小学校が設置されていましたが、明治41年に池田尋常高等小学校が設立されるにあたり、各地区の小学校は合併や廃止がされていきます。池田尋常高等小学校を本校として、上発知分教場、佐山分教場、南分教場(奈良)、岡谷分教場が設置されていましたが、大正6年に北分教場(上発知)、西分教場(佐山)、東分教場(奈良)、南分教場(岡谷)となりました。ちなみに、玉原分教場も昭和9年に建設され、昭和19年に閉場されました。その後、昭和29年に池田村と沼田市との合併により、沼田市立池田小学校となり、現在に至ります。

地域にある豊かな自然、伝統、歴史を体験として学び、地域の方々との温かな交流、他地域の小学校との交流で学びを深め、広げていく。小規模校ではありますが、小規模の良さを生かした体験活動に取り組む子供たちの日々は、笑顔で満ちています。

子供たち一人一人が自分の良さを発揮し、自ら豊かな未来をたくましく切り拓いていく自信を身に付けていく学びを大切に、未来へたくましく羽ばたく力を育てる学び舎を目指しています。

🌀<スローガン> 「いけだ力で みんなが 主役の 学校」🌀



